

今日のトピック 米国の金融政策（2017年9月） 10月からFRB保有資産の縮小へ

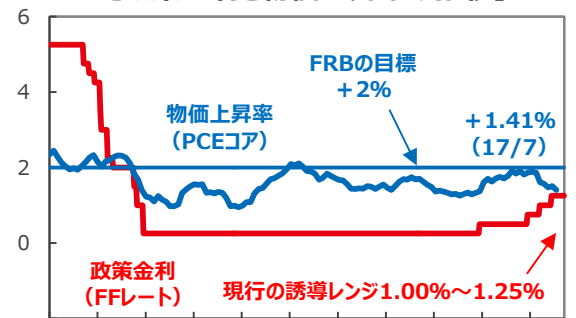
ポイント1 政策金利は据え置き FRB保有資産を縮小へ

- 9月19日、20日開催の米連邦公開市場委員会（FOMC）は、市場の予想通り、①政策金利（FFレート）の誘導レンジを1.00%～1.25%で据え置き、②連邦準備制度理事会（FRB）保有資産の縮小開始、を決定しました。

ポイント2 経済見通しはほぼ修正なし 政策金利の予測値も同様

- 声明文では、「景気は緩やかに拡大、物価は低い水準で安定」との見通しを維持しました。米南部を襲った大型ハリケーンの影響は一過性のものであり、景気や物価の基調は変わらないと判断しました。
- FOMC参加者による経済予想にも、大きな修正はありません。将来の利上げについては、2017年、18年とも年3回の利上げ予想を据え置きました。17年は、既に2回の利上げを実施しているため、計算上は、あと1回の利上げを想定していることとなります。ただし、物価上昇に確信があるわけではなく、12月の利上げ余地を残したと見るべきでしょう。
- FRB保有資産の規模縮小は、10月から実行に移す予定です。6月13日、14日開催のFOMCで公表された計画に沿って進める方針です。

【政策金利と物価上昇率の推移】



(注1) FFLレートは2007年1月5日～2017年9月20日。2008年12月以降のFFレートは誘導レンジの上限を表示。

(注2) 物価上昇率は2007年1月～2017年7月。PCE（個人消費支出）コア物価指数の前年同月比。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

【FOMC参加者の経済見通し】

項目	開催月	2017年	2018年	2019年
GDP成長率	9月	2.4	2.1	2.0
	(%)	6月	2.2	2.1
失業率	9月	4.3	4.1	4.1
	(%)	6月	4.3	4.2
物価上昇率	9月	1.5	1.9	2.0
	(%)	6月	1.7	2.0
FFレート	9月	1.4	2.1	2.7
	(%)	6月	1.4	2.1

(注) FOMCメンバー予測の中央値。GDPと物価上昇率は第4四半期の前年同期比。物価上昇率はPCE（個人消費支出）コア物価指数の上昇率。

(出所) FRBの資料を基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 緩やかなペースでの利上げ継続の見通し

- 今回の決定はほぼ事前予想通りでしたが、年内の追加利上げの可能性が改めて示唆されたことから、FOMCの姿勢は想定以上にタカ派的とみなされ、米国市場では債券利回りが上昇（債券価格は下落）、米ドルが主要通貨に対して買われました。
- 米景気は順調に拡大を続けているものの、物価上昇率がFRBの目標値を下回っていること等から、今後も金融緩和の解除は緩やかな速度で進められる見通しです。従って、金融市場が大きく混乱する可能性は低いと考えられます。

ここもチェック! 2017年9月15日 FRBの『バランスシート縮小』って何？ 2017年9月 8日 『ページブック』、賃金・物価の上昇は緩やか

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。